

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (33) 地域営農連絡協議会の取組み
JAあぶらんど萩 (山口県)

新規	継続
	○
	(平成 19 年度)

1 動機(経緯)	地域の高齢化や農業政策の変化により、地域農業の経営主体が個人から組織へと変わって いくなか、それらの農業経営体組織の活動や組織間の連携、法人化等の支援を通じて地域 農業の振興と集落機能の維持・発展に寄与するため。
2 概要	組織間連携の支援として、集落営農組織間の話し合いを行う場の提供や情報提供などを関 係機関と協力し行っています。 また、各関係機関と共に法人化を目指す集落組織の話し合いの場に伺い、設立スケジュー ルや事業計画などの作成支援などを行っています。 さらに集落組織を対象にした経理研修会や課題解決に向けた視察研修なども行っていま す。
3 成果(効果)	集落組織の法人化支援を行った結果、平成 27 年度の 37 組織から 29 年度には、47 組織と 増加しました。農業者が苦手としている経理などの部分の指導を通じて組織とJAとの関 係深化を図ることができました。
4 今後の予定	経営体の大型化によりJAの事業利用率が低下する傾向にあります。それに対する対応 力の強化、また法人組織の高齢化に対する今後存続するための次世代の担い手を増やして いく活動が重要だと思っています。